

慶蔵院寺報

# 公孫樹

2019年1月発行

第84号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726

## 平成三十年の饒別の一句

あけましておめでとようございませす

一年間の間に、引導で饒別の一句として  
伝えさせていただいた句より自選しました。

木漏れ日のような念仏冬日照る

大寒の大念仏に生かされて

前へ前へとひとり耕し往生す

念佛に目覚めこの道春の天

ひとり往く春の光に照らされて

来し方も往く道もまた花満開

悲しみを此処に癒せと青葉かな

極楽へまっすぐに往く青田道

青時雨あまねくそそぐ光かな

白鷺の一点となる梅雨晴間

彼方より見てくれてをり月今宵

天地分け一本生れし彼岸花

念仏の功つもりたる小春かな

生き生きてひとり黙って冬の道



成道会にて 大正琴アンサンブル Puzzle の皆さんの演奏

西里定一 画

# 1月の行事予定



9日(水)	念仏会	午後7時半～
16日(水)	写経 気の教室 講師 高野 葉先生 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午前10時～ 午後1時～健康教室・歩き方教室 参加費500円 午後3時～ヒーリング500円 午後7時半～
23日(水)	読経会	午後7時半～
25日(金)	戦没者慰霊	午前11時～
10日・24日(木)	英語教室 講師 三浦邦昭先生	午前10時～ 午後1時半～ 参加費1回1000円
11日・25日(金)	茶道教室 講師 村井宗玲先生	午後7時～子ども茶道教室 午後7時半～大人の茶道教室 子ども無料 大人500円

## 二月十七日(日)涅槃会のお知らせ

午後一時～午後四時半

お誘い合わせてお参り下さい。無料です。

お説教師

乗雲寺 (大阪 茨木市)

安井 隆同上人

午後一時 法要

一時半

法話

二時半

休憩

おぜんざいを食べていただきます。

三時

法話

四時半

終了



今回で四回目のお説教をいただきます。この一月中旬、安井上人は京都大学大学院の西田哲学院のみなさんから案内の依頼を受けてインド仏跡めぐりと合わせて、マザーテレサ・ガンジー・タゴールのゆかりの地にも訪問されるということです。

カルカッタ大学で仏教哲学の博士号を取得され、インドの仏跡を歩いて巡礼された安井上人ならばこそのお仕事だと拝察されます。

当日はお説教を二席いただきます。難しいことを面白く、分かりやすく語って下さる安井上人のお説教、どうぞ楽しみにお集まりください。

参加は無料ですが、おぜんざいを用意させていただきます。お餅は五重の時の重ね餅です。事前に申し込みをお願いします。申込書は二月にお届けします。どうぞ予定を空けておいてください。





浄土宗新聞より

## 2019年 1月 ともいきハウスおくやま予定表

モーニングサービス……午前9時～11時

ランチ……………午前11時半～午後3時

※ 空白の日は、予約があればオープン可能です。

※ともいきランチは必ず前々日までに予約をお願いします。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1	2	3	4	5
6	7	8 モーニング (要予約)	9 モーニング (要予約)	10 モーニング ともいきランチ ハヤシライス (要予約)	11	12
13 モーニング ともいきランチ カレーの唐揚げ定食 (要予約)	14	15 モーニング (要予約)	16 モーニング (要予約)	17 モーニング ともいきランチ パスタランチ (要予約)	18	19
20 キサラン ランチ (予約優先)	21	22 モーニング (要予約)	23 モーニング (要予約)	24 モーニング ともいきランチ 八宝菜 (要予約)	25	26
27 モーニング ともいきランチ 天ぷらうどん おにぎり (要予約)	28	29 モーニング (要予約)	30 モーニング (要予約)	31 モーニング ともいきランチ クリームシチュー (要予約)		

パソコンカフェ (希望があれば モーニングの時間)

希望があれば、随時開催します。



今月のキサランランチ…

1月20日(日) 11時30分～

連絡先 伊勢市小俣町元町 1211 前島格也  
☎ 0596 (22) 3726

( ) 知恩「誌」一月号「柳壇」に掲載

改元に重ね合わせて夢を抱へ

奥田 悦生

### ☆お知らせ☆

2月17日(日)は、

午前10時から、子ども会があります。

11時から是一年一度の人形劇団「どむならん」の上演が一会館であります。無料です。お誘い合わせてどうぞ。

演目は「長靴をはいたネコ」とクイズ・イソップ物語です。

午後1時から本堂で、涅槃会があります。

どうぞ、午前も午後も両方ご参加ください。





# おかげさまでという謙虚な心で —— ことしもすこやかにくらしをしよう ——

関谷喜与嗣上人が平成十八年まで発行してみえました「一味」誌を紹介します。

消えている電灯も

スイッチをひねれば

パァッとつく——

ついた電灯も

もう一つ ひねるとパァッと消える。

一つ電灯で光ったり 消えたりする。



不思議じゃないか——

不思議はない。電気に感応すればつき、

電流から絶縁すれば消える。

人間も天地大生命と交流すれば輝き——

自ら退散忌避すれば生気を失う。

## いつも正月

そういつころで今年もすこやかにく  
らせますようにと念するのです

一息一息丹田にこころをこめて み仏  
のみ名をとなえつつけるのです

「おかげさま」といふ——謙虚な心  
で天を仰ぎ地に伏して拜むのです

ご恩に感謝して、み仏のみ恵みに報い  
られますようにと祈るのです

一物一飯を粗末にせず 愛の施しがで  
きますようにと祈るのです

今年も み仏のみちからと みめ  
ぐみによって あなたさまとともに

み仏のみさかえをあらわすことができ  
るようなくらしをなさしめ給えと念じ

あなたさまのご健康をご祈念申します  
元旦

今年も一味誌をご愛読のうえ、かわら  
ぬご支援ご教導をたまわりますように  
心からおねがい申し上げます

(発行者 編集部一同)

中野善英上人遺著

「生の神秘」「死の神秘」の扉より